

# 知的障がいの人を知ろう

知的障がいとは、知的機能の障がいが発達期(おおむね18歳まで)に現れ、日常生活又は社会生活に支障が生じている状態をいいます。

知的障がいの特性は、「言葉を使う」、「判断する」、「抽象的なことを理解する・考える」ことが苦手であることが主な特徴です。障がいの現れ方は人それぞれですので、どのような配慮が必要かは個人により大きく違います。

## こんなことに困っています…



● 未経験のことや、慣れない場所、初めて会う人とのやりとりでは大きな不安を感じて、うまく行動できないことがあります。  
また、「何に困っていて、どうしたいのか」をうまく伝えられない場合があります。



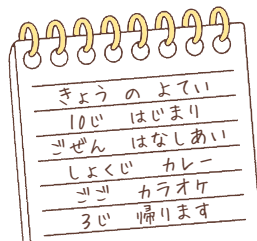
● 障がいの現れ方は人それぞれで、漢字の読み書きや計算は苦手だったり(逆に得意な人もいます)、一つの行動に固執したり、同じ質問を繰り返したりする人もいます。

## わたしたちができることは？

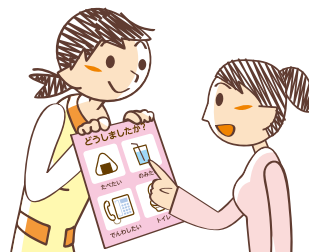
◆ 自分の考えをうまく伝えることが苦手です。「早く」、「まだ？」などと急かさずに、じっくりと聞きましょう。



◆ 先の予定がどうなるかわからないと不安になります。難しい表現は使わず、分かりやすい表現で説明しましょう。



◆ 人に質問したり、言葉で自分の気持ちを伝えたりすることが苦手なため、状況に応じて絵や記号、簡単な図を使って説明や意思表示するなど、その人の伝えたいことを理解するようにしましょう。



◆ 障がいの程度や、必要な支援内容は様々ですが、一般の会社等で働いている人も、福祉サービスを使って生活している人も、それぞれの形で社会参加しています。